

## 様式第3号(第12条関係)

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第12回吉川市障がい者の地域での生活を考える検討会議
開 催 日 時	令和3年1月13日(水) 午後 1時05分から 午後 2時10分まで
開 催 場 所	あおしすミーティングルーム4
出席委員(者)氏名 (名簿順標記)	星座委員、互委員、鈴木委員、佐竹委員、糸井委員 杉田委員、金井委員、濱本委員、小嶋委員、加島委員
欠席委員(者)氏名	靄委員、野口委員、杉浦委員
担当課職員氏名	こども福祉部 伴部長 障がい福祉課 加藤課長、薄田係長、江原主事 鈴木主事
会議次第と会議の公開 又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 議事 4 その他 5 閉会 会議は公開とする
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	—
傍聴者の数	—
会議資料の名称	資料 グループホームに関する追加調査 吉川市障がい者の地域での生活を考える検討会議提言書 (案)
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	互委員、鈴木委員
その他の必要事項	なし

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

1 開会

2 あいさつ

3 議事

追加調査の結果等について

事務局より資料に基づき説明。

委員) 追加調査対象者8名の中で、実際に入居に至った方はいるのか。

事務局) 現時点ではない。必要に応じて支援を行っていく。

提言書(案)について

事務局より提言書(案)に基づき説明。

委員長) 本日を含め、これまで12回検討会議を開催してきた。これまでの検討内容を一度まとめて、提言書として市へ提出したいと考えている。この提言書(案)は、たたき台として作成した。内容等について、訂正や追加事項等があればご意見をいただきたい。

委員) これまで短期入所の必要性についても議論してきた。提言に加えるべきではないか。

委員) 4項(2)で「慣れ親しんだ身近な地域(市内)」との文言があるが、地域に対するより強い想いを表現できると良い。

委員) 介護施設を利用した障がい福祉サービスの提供(共生型施設)の促進も課題となってくる。

委員) 「農福連携」の意味、必要性等について説明文が必要ではないか。

委員) 障がいのある方はアルバイト等で就労経験を積むことが困難である。就労体験の充実についても提言に加えてほしい。

委員長) 委員の皆さまのご意見を基に提言書を再作成し、2月中に市に提出させていただきます。

#### 4 その他

市長) 市としても、検討会議に力を入れてきた3年間であった。今回の提言を受け、令和3年度からすぐに政策に活かしていきたいと考えている。本日でこの検討会議は一つの区切りを迎えるが、次年度以降も継続していきたい。委員の皆さまからもご意見あったが、市としても「農福連携」「就労体験の充実」「高齢者福祉とのリンク(共生型の促進)」「障がい者スポーツの振興」等について取り組んでいきたいと考えているため、引き続き検討していければと思う。

また、検討会議の取組について、現委員の所属団体の方に広く周知するために、次回から委員を変更して検討会議を開催したいと考えている。

事務局) 事務局としても、次年度の検討内容案として「障がいに関する理解促進」「コミュニケーション支援の在り方」「障がい者就労に関する企業側へのアプローチ」等を考えている。委員の皆さまも次年度の検討内容についてご意見あれば事務局にご連絡ください。

#### 5 閉会

委員長) 吉川市障がい者の地域での生活を考える検討会議設置要綱第6条の規定に基づき、提言書の提出をもって委員の任期は満了となる。皆さま3年間お疲れさまでした。

以上、会議の内容に相違ない事を証するため、ここに署名する。

令和3年2月15日

署名委員 鈴木 平 (自署)

署名委員 互 竜輔 (自署)